

7学級 127名

## 取組概要

下堅田小学校では、佐伯南中学校区CS「未来創造」及び教育目標として「『未来』を創る力を身につけ たくましく生きる 児童生徒」の育成を目指し、佐伯南中学校区共通の課題・取組の方向性を踏まえつつ、下堅田小学校としての具体的な取組をチームごとに立案して取組を推進している。

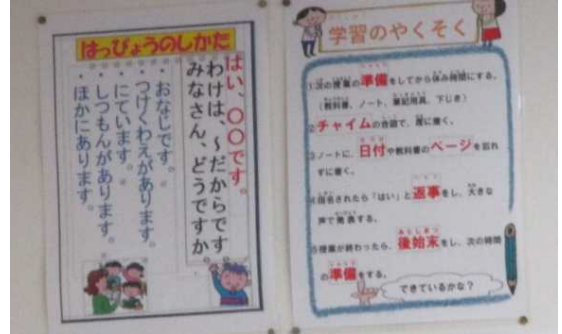
## 工夫・ポイント

- 【学校マネジメントの工夫】
  - ◆佐伯南中校区CS「未来創造」における共通の達成指標を踏まえつつ、短期での検証・改善を行うことができるように下堅田小学校としての指標を設定している。
  - ◆「基礎力向上部会」「表現力向上部会」「生活指導部会」ごとに取組指標に係る取組を細分化して担当者を明確にし、取組状況の確認や妥当性の検証、改善方策の立案を行うサイクルと体制を整えている。

## 働き方改革の工夫

- ◆無料アプリte to ruを活用し、保護者からは欠席連絡、学校からは学級通信・学校だよりの配信等、即時的な情報共有や発信を行い時間削減につなげている。

## 授業づくりの工夫



全ての教室で発表の仕方・学習の約束を掲示して意識付け

## 自分の考えをもつ・表現する場づくり



授業の中で考えたことを書く・表現する場を位置付けている



## 帯時間と授業を連続させる工夫

日課表を工夫し、15分の帯時間（スキルタイム）と授業を連続させている  
授業時間と連動させることにより、60分授業を実現している



## 部会ごとの進行管理表

部会進行管理表 1学期 5月 31日 【基礎力向上】部会  
基礎・基本の学習内容の定着

重点的取組	推進担当者	取組指標 (何が) (何を) (どのくらい)の頻度で)	学期中間		学期末	
			振り返り 取組状況	(O印)	追加・改善 の内容	達成指標
学校 新大分スタンダードに基づく、授業改善の推進 国の見取りに応じた指導の充実 補充学習による基礎学力の充実	担当者名	「新大分スタンダード」に基づく授業改善を実施する（毎時節）				
		単元構想に基づく授業プランの作成・活用する（学期に1）				
		コマドリ特短（15・45）を活用した授業の充実を図る。 はにニバーサルデザインの良いを取り入れた教室環境・授業とする。				
家庭 家庭学習の習慣化に向けた取り組みの推進	担当者名	タブレットドリル等ICTを活用した個別学習の推進を行う				
		学習内容の定着度に応じたスキルタイムを実施する				
地域 地域学習の充実支援	担当者名	補充学習リストと連動した問題データベースの活用を行う				
		は教員と連携して家庭学習見守り連帯を実施実施する（学期）				

《具体的な取組内容》

月	取組内容	推進担当者	部会作成及び 部会検討期日	運営委員会 提案期日	職員会議等 共通理解期日
5月	通年の取組 コマドリ特短 家庭学習 教 育資源活用 SDGs・食育 オーガニック農産 情報発信	教室環境		5月20日	5月27日
6月	タブレットドリル等ICT活用			6月12日	6月14日
	スキルタイム 問題データベース	家庭学習見守り連帯		6月12日	6月14日
7月	進捗管理・検証等のツールとして活用				
8月					

「継続」「追加」「改善」を確認

担当者名